

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年通補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

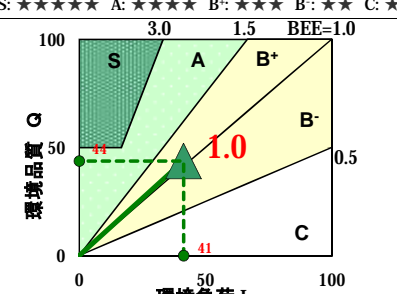
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社光明製作所 和泉本社工場	階数	地上2F
建設地	大阪府和泉市テクノステージ1丁目4	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	100 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年10月 予定	評価の実施日	2014年8月25日
敷地面積	16,558 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社一級建築士
建築面積	3,577 m ²	確認日	2014年8月25日
延床面積	4,826 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社一級建築士



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

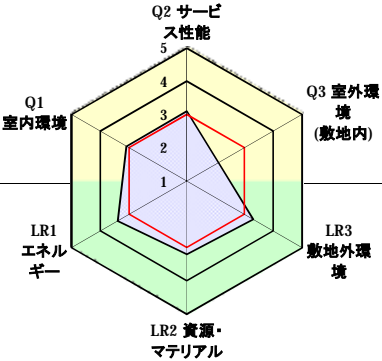
標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	91%
③上記+②以外の	91%
④上記+	91%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂ 排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

音環境	3.0
温熱環境	3.0
光・視環境	3.1
空気質環境	3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	2.8
耐用性	3.2
対応性	3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

建物の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.3
地域環境	3.3
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
Q1 室内環境 ほぼ全面的にF☆☆☆☆建材を使用する等、室内環境に配慮した	Q2 サービス性能 十分な階高、天井高を確保する等、サービス性能に配慮した	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー 高効率機器を採用し省エネルギー性能を高めた	LR2 資源・マテリアル 節水型器具の採用や部材の再利用に取り組む等、資源に配慮した	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ を91%に抑え敷地外環境に配慮した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	株式会社光明製作所 和泉本社工場新築工事		
	建設地	大阪府和泉市テクノステージ1丁目4番5、4番6		
	用途/区分	事務所 工場		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			3
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.3	3
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊	3
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他				
先進的技術の導入		技術の名称	考慮事項	
		高効率機器を採用	高効率機器を採用し省エネルギー性能を高めた	
		節水型器具の採用	節水型器具の採用や部材の再利用に取り組む等、資源に配慮した	
特に配慮した事項				